

AIを活用した地域公共交通に関する共同研究の実施について

信州大学工学部(本部:長野県松本市、学長・濱田 州博)の藤原研究室およびアルピコホールディングス株式会社(長野県松本市、代表取締役社長・曲渕 文昭)は、バス運行に係る最適な乗務員及び車両の配置・スケジュールリング、同ダイヤ編成について共同研究を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

アルピコグループのアルピコ交通株式会社が運行するバスの市内路線(松本地域、長野地域、諏訪地域等)および高速路線について、AI(数理計画法等)を活用し乗務員及び車両の配置・スケジュールリング・編成について最適化を行います(第一ステップ)。また、第一ステップで得られた研究成果・知見も活用しダイヤの最適編成に取り組めます(第二ステップ)。これにより、地域公共交通の主翼を担うバス運行について効率化やコスト削減を図ると共にバス利用者の利便性向上を図ってまいります。

【共同研究の概要】

共同研究契約締結日:令和3年6月1日

共同研究期間:令和3年6月1日から令和3年8月31日

役割分担

名称	役割
信州大学	研究主体:信州大学工学部藤原洋志研究室 ➤ モデリング ➤ 数理計画問題への定式化 ➤ 最適化手法の検討と提案 ➤ アルゴリズム設計
アルピコホールディングス アルピコ交通	研究主体:アルピコホールディングス経営企画部・ICT推進室、 アルピコ交通営業企画部 ➤ データの抽出・分析・整理 ➤ 最適解の実務適用評価、効果算定 ➤ システム構築・保守

<本件に関するお問合せ先>

●信州大学に関して

信州大学工学部 電子情報システム工学科 准教授 藤原洋志 TEL:026-269-5470

●アルピコグループに関して

アルピコホールディングス株式会社 経営企画部 宮島正彦 TEL:0263-28-5386